



集落支援員 じゅっちゃんの アロハ ALOHA! 五城目町。

教育留学で五城目に滞在していたお子さんに遊んでいただく息子。



五城目町のみなさま、Alo-ha! 集落支援員の八嶋美恵子です。霰(あられ)や曇(みぞれ)もちらちら降り始め、そろそろ冬用タイヤの時期ですね。寒さで空気が澄んでいるからか、朝日や夕陽がより一層きれいに見えます。

気温の変化が厳しく、家族そろって風邪をひきましたが、食養生と身体をあたためること、それからやっぱり少しでもおしゃべりしたり、笑って過ごしたりしていると、回復するのが早いな~と感じます。

寒いと家に籠もりがちになりますが、ちょっと気合いをいれて外に出た時に、あいさつをしたり、声をかけ合ったりできると、ひとの存在の温かさ、有難さが身に沁みますね。

ところで、10月から、JICA(国際協力機構)海外協力隊実習生のお二人が、アフリカに出発する前の約2か月半の間、住民主体の地域活動に参画したり、朝市に出店したりすることで、地域に溶け込んだまちづくりを学びたいと、五城目に滞在されています。

これまでの約1か月半、集落支援員の活動や、朝市通りの拠点『貸し棚 おうみや』の活動にもご協力いただき、わたしだけでは普段深くお話することのなかった方とも繋がり、活動の幅を広げていただきました。

その土地の「風土」という言葉がありますが、その場所に昔からいる「土」の人や文化と、外から新鮮な空気を送り込んでくれる「風」の人や気づきがあることで、今の時代に沿った五城目らしさが育まれていくのかもしれない。

わたしたちは東京から移住し、この春で3年。子どもが生まれ、もうすぐ1年になります。「風」の人として、まだまだこの町の知らない人に出会い、初めての味(笑)に驚き楽しみながら、少しずつ「土」の人としても、毎日の暮らしやつながりを大切に育ててゆきます。2023年最後の1か月は、来年にむけて改めて今ある繋がりに感謝する時間になりそうです!

五高 NEWS 創立80周年

五城目高校のわだいを定期的にお届けします!



11月15日に行われた生徒会役員候補者の立会演説会の様子

これからの五高を担う1・2年生に期待!

~校内で活躍する生徒にインタビューを行いました~

~生徒会新役員の意気込み~

11月15日に生徒会役員候補者立会演説会を体育館で行いました。開票の結果、生徒会長1名、副会長2名、書記2名、会計2名、会計監査2名の計9名の生徒会新役員が選出されました。五城目高校の伝統を引き継ぐ新しい生徒会長に、今の意気込みを話してもらいました。

◆新生徒会長 中村□□□(2年A組)
生徒数が少なくても、できることはたくさんあると思うので、みんなで工夫して五城目高校を盛り上げていきます。特に、生徒会役員が一致団結して生徒の皆さんに面白かったと思ってもらえる五高祭やクラス対抗などの行事を開催したいと思っています。

~探究活動を通じて見た町の姿~

本校の1年生は、地域課題の解決を目的として、グループに分かれてテーマを設定し、探究活動を行っています。その一環として「地域を知る」ために10月25日に3名の生徒が町に出てインタビューを行いました。

◆小玉 □(1年A組)
300年以上の歴史をもつ造り酒屋を訪問しました。販売しているお酒の名前に伝統や工夫を感じました。鍋まつりで酒蔵開放をしていることに驚きました。これまで守ってきた伝統をこれからも引き継いでいってほしいと思います。

◆渡部□□(1年A組)
空き店舗を改装して開店したカフェを訪問しました。地元の食材を使った料理を地元の食器で提供しているそうです。カフェの中には子供が遊ぶ場所もありました。五城目町で新しい発見がたくさんあり、自分の将来を考えるきっかけになりました。また、町外の方に五城目町を宣伝できる場所だとも思いました。

◆伊藤 □(1年B組)
社会福祉協議会を訪問して7月の水害のことを聞き、浸水被害の規模が想像以上に大きいことを知りました。県内・県外の多くの方が災害ボランティアとして活動していただいてもありがたいと思いました。

五城目高校ホームページ: <http://www.gojome-h.akita-pref.ed.jp/>

12月の予定	
12月21日(木)	終業式
12月22日(金)	就職準備セミナー(2年生)
冬季休業(~1月13日)	



12月に開催される「第37回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に出場予定

いとこの影響で小学校3年生からバレーボールを始めたという齊藤さん。中学校では「ミドルブロッカー」というポジションを担い、前衛の中央に位置し、主に相手のアタックをブロックする重要な役割を果たしてきました。また、相手チームのブロックの体制が整う前に素早くトスを振りぬく「クイック(速攻)」も得意としています。“高さ”を生かしたテンポの良い攻めが自身のプレーの強みだそうです。

そんな齊藤さんは、中学校の部活での現役引退後、7月に行われた「JOCジュニアオリンピックカップ第37回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に向けた県代表選手の選考会に参加。見

輝け! 五城目びと
県代表としての誇りを持ち
全国大会での勝利を目指す
齊藤 光希さん(中川原)
五城目第一中学校3年

事、約120人の参加者の中から選抜メンバーである12人に選ばれました。現在は、12月25日(月)から28日(木)の期間に大阪府で行われる当大会に向けて、選抜メンバーと共に練習に励んでいます。

選抜メンバーが編成されたのは9月上旬で、大会本番まで過密なスケジュールが組まれる中、県内外で行われる強化試合を通じて、自分たちの課題や強みを模索しています。12月の全国大会に向け齊藤さんは、「選抜メンバーとの練習は、これまでとは異なる環境で毎日刺激を受けている。大会では、自分の役割をしっかりと果たせるよう頑張りたい。また、バレーボールを楽しんで、1つのボールに集中して試合に臨みたい」と話していました。

ごじょうめの 文芸

「短歌」
よちよちと歩む幼を見ておりぬ
孫の出産も間近なるらし
岡本 大石 政子
高々と轟く花火宙に咲く
顔に降るよなしたれ柳が
古川町 小濱 キエ
中腹にかかりし霧は蛇行して
素早く変化し薄らいでゆく
八郎瀧町 畑澤 英子
「俳句」
二人して後幾度聴くや除夜の鐘
湯ノ又 畑澤トミ子
お待たせの洪皮栗や談弾み
畑町 本間 恵子
衝動に負けて買ひぬ冬帽子
昭辰町 本間 富子
「一川柳」
もう少し話そう雨も悪くない
町村 石井トモ子
日は昇る何とかなるさ笑おうよ
八郎瀧町 小柳 文子
泥まみれそれでも空は美しい
新畑町 荒川 一滴
限定のひとつに欲がくすぐられ
新里町 加藤 円心